

平成 25 年度 インターンシップ経験者が 学んだこと / 感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

【NPO 法人（多文化共生）】

◆学んだこと

- ・ ラジオ番組制作に積極的に取り組むことで、コミュニティラジオ放送に関する全体像を学ぶことができた。
- ・ 地域における NPO を支える人材ネットワークの構築の現場に身を置くことで、ネットワーク構築に必要なコミュニケーション力を高めることができた。
- ・ 多様な人びととともに暮らすという理念をより深く理解することができた。
- ・ 多様な意見・アイデアに開かれた職場文化の重要性を知ることができた。

◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

大学院を出て初めて仕事をした場所が、お互いを尊重し認め合う雰囲気を感じている FM わいわいであったことをラッキーだと感じています。なかでも、ネットワークの構築の仕方など非常に勉強になりました。

また今回インターンシップさせていただいた職場が、コミュニティラジオという社会へ声を発信する場であったことは、研究以外で社会とつながる意味を考える上で非常に大切な場所であったと感じています。

6 ヶ月間インターンシップを無事に行うことができたのは、きめ細やかなサポートをしていただいた奈良女子大学キャリア開発支援本部のみなさまのご尽力あってのことだと、心より感謝しています！ そこで学ぶことの大きさを私は身をもって経験しました。

これからインターンシップを考えていらっしゃる皆様、新しい世界があなたを待っていますよ！！

【公益財団法人（国際交流）】

◆学んだこと

5 か月間という期間の中、大きなイベントに携わり、常時活動にも継続的に参加し、担当することで、全体的な仕事の中で、自分の役割を確認し、臨機応変に動く力を身につけることができた。こういった実質的な一連の活動の中で、表舞台ではないが、協会職員が京都に住む外国人や地域市民を支えていることを理解した。その中で「共生」の在り方を垣間見ることもできたように思う。

access による情報管理や、ホームページ更新、photoshop や illustrator でのチラシの作成、indesign を使用した情報誌の編集など多くのパソコンスキルを使いこなせるようになった。事業紹介のパワーポイントや日本語教材リストなどを自身で作る機会を与えられ、協会に貢献することもできた。

◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

インターンを通して多くの人に出会うことができました。多文化共生社会に向けて何ができるのか、まだ具体的にわかりませんが、職員の方や外国籍の方、協会に所属する多く

のボランティアさんと活動するとともに自然とそこに生まれているのかなと感じました。5 か月という期間、お弁当を作って週 4 日の奈良と京都の往復は思ったよりも大変でしたが、一回り大人になったような気がします。インターンという限られた期間と条件だからこそできることはたくさんあると思います。多くの人と出会い、成長し、ぜひインターンシップというチャンスを楽しんでみてください。

【株式会社 (科学教育)】

◆学んだこと

インターンシップの経験によって、私は実に多くの人に会うことができました。雑誌や実験教室を届ける先である高校生、学校の先生、企業の人、大学の研究者。インターンを経験する前の私は、ただ闇雲に科学のおもしろさを一般の人に伝えたい、社会を変えたい、といった漠然としたイメージしか持っていませんでした。しかし、私が科学を伝えたい「人」とは誰なのか、「社会」とはなんなのか、いろいろな人に会うことで少しずつ見えてきた気がします。社会を形作っているものこそ人であり、この世界に「一般の人」という人はいないということがわかりました。これからも、この経験を生かしてもっともっとたくさんの人に出会いながら、感謝してもらえる仕事を生み出していきたいと思います。

◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

学生と社会人はまったく違うものです。「働く」ということは誰かのニーズに答えられなければならない。その対価としてお金をもらう。それは、企業に入らなくても、研究者としても、給料をもらう限り同じことです。自分は誰に「ありがとう」と言ってもらいたいのか、それを突きつめることが大切だと思います。

【株式会社 (科学教育)】

◆学んだこと

①実験教室を通して - リーダシップ -

実験教室の実施後アンケートでは、多くの生徒が「理科が好きになった」、「研究者になりたいと思った」と回答しており、「科学の面白さを伝える」という目標は概ね達成できたと感じている。また、企画のリーダー、講師、実験補佐のスタッフなど様々な仕事を経験する中で、チームで企画を作り上げていく際にリーダーシップを発揮するのはリーダーだけではなく、それぞれが自分の仕事に責任を持ち、リーダーシップを発揮することが大切だということを知った。当たり前なことだが、実行することは難しいと感じた。

②冊子制作を通して - ライティングスキル -

回数を重ねるごとに、短時間で記事を仕上げられるようになり、インターンシップ前よりも、ライティングスキルが身についたと感じる。実験教室とは異なり、直接会えない相手に対して文字だけで研究の魅力を伝えなければいけないため、非常に苦労した。そして、相手が見えないからこそ、相手を理解し、どうすればその記事を読みたくなくなるかを考えなければいけないということを知った。

③企業プロモーション活動を通して - コミュニケーションスキル -

マンガの制作に関わる方の中には理系の知識をほとんど持っていない方も多く、ストーリーの中で出てくる「免疫」や「抗体」を正しく理解してもらうことに苦労した。免疫の面白さを伝え、ストーリーの中にも上手く取り入れてもらう工夫をする中で、コミュニケーションスキルが身についてきたと感じる。

④研究支援活動を通して - 仕事とは何か -

①-③とは異なり、見積書や請求書の発行などの事務作業も多かった。お客様にサービスを提供し、それに対してお金をもらうことが仕事であり、受託サービスを通してそれを最も強く感じた。

◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

研修先の実験教室で講義を作る人は、生徒が自然と聞きたくなるような構成を考える点が一番の特徴だと感じた。そして、そのためには、まず相手が何に興味を持っていて、どのような話なら聞きたくなるのかなど、相手を理解する事が最も大切であり、自分にはその部分がまだ足りなかったと感じている。また、ここでのインターンシップは、自分が本当にやりたいことを考える良い機会となった。仕事の種類は変わっても、ここで学んだ、相手の事を考えて行動すること、先を考えて行動することなどは共通していると思う。インターンシップを通して学べること、考えることは非常に多く、これからインターンシップを考える方にも、是非、「自分が本当に好きなこと、やりたいこと」を見つけてほしいと思う。

【社団法人（教育 出版）】

◆学んだこと

- 自己分析をとおして、自分の望む生活スタイルや価値観を洗い出すことができた。
- 教育支援の組織的な在り方について学ぶことができた。
- 教材編集の過程を学ぶことができた。
- 自分の考えを提言の形でインターンシップ先に提出したことで、提言の仕方を学んだ。
- 仕事によって得られるものは大きいことや、社会に出てキャリアを積み上げていくことの大切さを学んだ。

◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

インターンシップ先を決める前に、キャリアコーディネーターの皆さんに相談に乗っていただき、自分の価値観に合ったインターンシップ先を紹介していただきました。また、候補の企業の1つに、インタビューに行き、様子を見ることもできました。企業分析をしっかりして、将来性のあるインターンシップ先を見つけられるとよいと思います。

価値観は人それぞれですが、自分の望む幸せの形をぜひ実現したいものですね。私は、ここで、同年代の人が家庭を持ちながら仕事をする様子を見ることができ、大きな刺激になりました。

インターンシップ先での就職には至りませんでした。今後の生活を具体的に考えるきっかけになりました。ありがとうございました。

【株式会社（コンサルティングサービス）】

◆学んだこと

- 中国に進出する日系企業に対するコンサルティングの実務に携わり、中国でのビジネス展開の全般に関する法律、政策を理解し、その具体的な運用と実情を学びました。
- お客様と会社の両方の立場のバランスを意識する仕事のあり方、営業を意識した仕事のあり方を学びました。
- 中国での企業の開業登録、特許取得、従業員就業規則等の制定、危険化学物質取り扱い許可の登録、企業撤退の手続、税金徴収などの具体的な手続を学びました。
- 社会人としての基本的マナー、ビジネスマナー身につけました。
- 今までの研究において身につけた具体的な問題を取り組み、問題解決を向かい、その打開策を探るノウハウが、お客様に対するコンサルティング提言において生かすことが出来ました。

◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

- 今までの経験や、専門分野にこだわらず、より広い視野のもとで、その経験や専門知識をいかに活かすかを考え、新しいことを挑戦し続けること。
- 一女性として、一働く女性としての誇りを持ち、どんな困難にも負けない強い意志を持ち続けること。
- 遭われた悪いことも、いいことも、全てチャンスとして一つ一つ大事にし、自分のキャリアに活かすこと。
- 周りの人にいつも感謝の気持ちを持ち続けること。

【株式会社（金融）】

◆学んだこと

- 確率論
確率空間・確率変数・条件付き期待値
確率過程・Brown 運動・伊藤の補題
- 金融工学
Black-Scholes モデル・Hull-White モデル
リスク中立化法
- C++を用いたプログラミング
クラスやオブジェクトの概念・DLL の作成
- エクセル
VBA を利用した DLL の呼び出し
- 相関を持つ正規乱数発生
コレスキー分解

◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

- 直接活用できなくとも、大学で学んだことが役に立たないということはないと思う。
- 違う分野で仕事をするなら、モチベーションを保てるものがあるか事前によく調べて

おいたほうがよいと思う。

【公益財団法人（国際交流）】

◆学んだこと

- ・ 活動の参加者のスタンスから参画者のスタンスへの転換
- ・ 外国人を対象とする幅広い支援活動への参加を通して、活動の企画力、コミュニケーション能力の向上
- ・ インターンシップ先で様々な新しい職種の体験を通して、チャンレンジする意欲の高まり
- ・ 数多くの小中学校において異文化理解教育授業の実施を通して、実務的な経験を積み重ねたことにより、文化伝達を意識した実践力の向上

◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

- ・ 行動に移して体験したいことを思う存分体験してみること！
- ・ 自分を信じて、心込めて、チャンレンジすること！

【国際機関（保健）】

◆学んだこと

WHO について

- ・ インターンの採用にあたっては、特定の疾患などに関する専門知識よりも、むしろジェネラリストとしてのスキル（リサーチスキル、論文・研究資料作成、コミュニケーション能力）が重視される。
- ・ 基本的に個室で仕事するため廊下で会う、ランチが一緒になる以外は接点がない。そのため強く意識してコミュニケーションを図り、人間関係を構築する必要がある。
- ・ 積極的に自己主張しそれをエビデンスで示す。

自分自身について

- ・ 文章検索能力・レポートや図表作成能力・ディスカッション能力・プレゼン能力、等博士で培った能力が即戦力として活用できる
- ・ 英語でのビジネスEメール作成能力、フォーラム等で積極的に人脈を作る能力、等は今後トレーニングが必要

◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

“世界の健康問題に取り組みたい”その思いから大学院へ進学。しかし、目の前の研究課題を解くことに必死となり、博士号を取得すること自体が目標となって、当初の目標をすっかり忘れてしまった。その忘れた目標をもう一度思い出させてくれたのが本インターンシッププログラムです。大学で研究を続ける以外にも博士号を活かす生き方・働き方があることを教えてもらい、挑戦するチャンスもいただきました。

インターンシップは大学で培った能力を現場で試し、足りない能力を知る良い機会だと思います。そして、この経験と人脈を足がかりに多様なキャリアが展開可能だと。どうぞ

ポスドクのみなさん、本インターンシッププログラムを利用して新たなキャリアを成功させてください！

【株式会社（生活関連サービス）】

◆学んだこと

- 企業での4ヶ月間における実務経験：
特に日本企業の雰囲気、働き方、さらに合同作業などを体験すること、コミュニケーション能力、柔軟性と妥協性
- 大規模データ処理分析スキル：
SQL データベース、エクセルの関数とマクロ、APOSTOOL を用いたクラスタリング、BAYONET を用いたベイジアンネットワークの構築など
- 営業・ビジネスと研究の違い

◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

将来のキャリアの方向が未定の博士の皆さんへ：

企業・団体での長期インターンシップを通じて、専門性上のスキルアップだけではなく、企業での実務経験を通じて、自分が企業か研究か、どちらに向いているのわかるはず。ですから、ぜひインターンシップを通じて、自分のキャリアの方向を定めてください！

【公益社団法人（シンクタンク）】

◆学んだこと

院生時代には質的研究を中心に行ってきましたが、インターンシップでは、それとは異なる統計的調査研究の手法を学び、経験を積むことができました。

また、複数の研究員が共同して調査プロジェクトを進めていく現場に立ち会うことで、協働ゆえに生まれるアイデアや熱意を肌で感じることができました。

◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

受け入れ先は「社会心理事業部」で、インターンシップ受け入れ先として出会わなければ、ご縁を感じることもなかったかもしれません。

インターンシップは、もちろん将来の進路として捉えることもできますが、新しい世界に飛び込むチャンスだと思います。思い切って自分の専門から離れてみることで、専門分野について新たな気づきがあったり、新たな発展の道が拓けたりもします。

この機会を利用して、多くのPDのみなさんに、自分の世界を広げていって欲しいと願っています。